

平成26年 11月 30日

大山町議会議員 野口俊明 様

議席番号 3 番

大杖 正彦



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1) 2020東京オリンピックパラリンピック参加国事前合宿招致について 2013年東京五輪開催が決定された後、事前合宿招致の一般質問した際、町長は「県と協力し情報収集に努め、状況に合わせ積極的に名乗りを上げる」と答弁しています。メディアがこぞって取り上げることが予想されるこの事業は、多くの人の目を大山町に向け、もらえることができ、子ども達に夢と希望を与え、人材育成・教育にも好影響をもたらします、そして観光面にも大いに寄与することは過去の経緯から明白です。 先日も新聞報道されたように、県は、全日本卓球連盟専務理事・参事と面談し、練習会場をコカコーラ体育館として誘致を平井知事が先頭に立って働きかけています。確かに大山町には国際レベル競技を開催できる施設が少ないが、トライアスロン、マラソン、自転車など自然を利用のトレーニング可能なスポーツをターゲットにすれば、対応できると思われます。とりわけ、パラリンピック種目への合宿誘致の対応は、バリアフリーなど社会福祉の充実には大きな意義があると思われ、大山町が県を動かす考えで取り組むべきです。 そこで以下の3点について答弁を頂きたい。 ① オリンピックの事前合宿誘致で、県へ大山町の意思表示と支援をした経緯はあるか ② 招致を目指すスポーツ種目、そして合宿施設・宿泊場所・練習場の整備など近隣市町村との連携・組織体制づくりはすすんでいるか 例えば、サッカービレッジを整備し、パラリンピック(ブラインドサッカー)など大山町の良質な芝のアピールの為に招致を訴えるなど。 ③ 東京五輪の2年前に、冬季五輪がお隣の韓国で開催されます。 本町はヤンヤン郡と姉妹提携の関係から、開催される江原道とも交流がある利点を活かし、ウインタースポーツ施設を有する大山町が2018平昌五輪の事前合宿誘致の考えはあるか	町 長 教育委員長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



一 般 質 問 通 告 書

No. 2

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2) 大山町の観光振興について 昨年、鳥取県西部地区を中心にエコツーリズム国際大会が開催されました。 エコツーリズムは大山を中心とした自然・歴史・文化をいかに体験し、知ってもらうかがキーポイントです。今、アウトドアスポーツメーカーが提唱する観光にやさしい旅「ジャパンエコトラック」第1号に境港・米子・大山が設定され、サイクリングが脚光をあびています。 国内外に限らず最近、人気の高いのがしまなみサイクリングコースといわれていますが、大山ダウンヒルツアーにも韓国・台湾などからの愛好者が楽しんでおられます。 しかしながら、エコツー国際大会で最も期待されたことは、人口減を考えて地域が元気になるためのファン作りの大切さです。繰り返し訪問・滞在し土産物を買う。やがて移住する人も出てくる。そのための手法であると聞いている。 この手法に必要なのは、地元の自然・歴史・文化に対する熱い『思い』。その思いを育むために、学ぶ機会の提供など人材育成に投資することが重要と言う声も多く聞かれます。 大山町には素晴らしい自然と多くの歴史・文化がある。それは大山寺周辺に限らず江戸時代に1日1万人の庶民が参拝したという立派な歴史を持った退休寺があると聞きますし後醍醐天皇ゆかりの地、名和神社・船上山もあります。 このエコツアーを持続的に発展させる自然を利用した登山・探索・サイクリングが先行しているが、古事記にも由来する遺跡・史跡など歴史・文化はこの地域の宝物(財産)です。 平成30年に迎える大山寺開山1300年盛り上げ、観光客の集客の目玉にする必要がある。	町長 教育委員長
① 大山寺僧侶跡の国指定申請を、町はいつ、どのように申請するかお聞かせください。 ② 大山町の自然、歴史、文化を観光客に説明し、更に増やすためのガイドなど人材育成が重要ですが、優秀なガイド育成は、にわかには大変です。これに対して小・中学校での郷土の歴史・文化の教育が大きな力となると思うが、教育委員会の考えと現状は、	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。